

- ★「どのような方法で観察し、分離・培養を行えばよいか？」
「検出した微生物をどのように方法で同定すればよいか？」具体例を交えて解説！

セミナーNo.602105

Live配信
または
アーカイブ配信

微生物 分離・培養、同定および 微生物試験の実践的方法

- 日 時: 2026年2月20日(金) 10:30～16:00 ●聴講料: 1名につき 55,000円(消費税込、資料付)
●会場: Zoomを使用したLive配信 [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円(税込)]
※アーカイブ配信は3/4～3/14に実施 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]
- 講 師: (株)テクノスルガ・ラボ 技術部 同定課 主席研究員 喜友名 朝彦 氏

- ◆習得できる知識◆:
- ・実験室で取扱う微生物(細菌、酵母、カビ)の基礎的特徴と見分け方
 - ・微生物実験の基本操作および注意点
 - ・微生物分離・培養、同定および保存管理にいたる微生物試験の実践的方法
 - ・微生物試験のトラブル対策法、品質管理方法

【講演主旨】

微生物は目に見えない生物の総称であり、食品や製造現場など様々な環境に発生します。本講座では、最初に実験室で取り扱うことが多い微生物(細菌、カビ、酵母)の基礎知識や見分け方について解説します。また、これらの微生物を調べる際に発生する、「どのような方法で観察し、分離・培養を行えばよいか?」「検出した微生物をどのように方法で同定すればよいか?」このような問題を解決しながら、正しく微生物を取り扱うために、基本的な微生物の取扱い、分離・培養・同定、保存方法や品質管理の方法について具体例を交えて解説します。

1. 微生物とは ～微生物の基礎知識～

- 1.1. 微生物とは何か
- 1.2. 微生物の種類と見分け方～細菌、カビ・酵母～
- 1.3. 微生物の分類と同定の考え方
- 1.4. 微生物の学名表記のルールとその見方

2. 微生物実験室における日常安全管理 ～微生物取扱いの基礎～

- 2.1. 微生物実験室における一般的な注意事項
- 2.2. 微生物実験で使用する基本的な設備と機器類
- 2.3. 微生物の取扱い
～無菌操作、滅菌方法、バイオセーフティ

3. 微生物の増殖および分離・培養方法

- 3.1. 微生物の増殖に必要な条件
- 3.2. 培地と培養方法
- 3.3. 分離・培養方法

4. 微生物の同定方法

- 4.1. 培養性状、形態観察法、生理・生化学性状
 - 4.1.1. 細菌
 - 4.1.2. 酵母
 - 4.1.3. カビ

- 4.2. DNA塩基配列解析法
- 4.3. MALDI-TOF MS法
- 4.4. 各同定方法の比較

5. 微生物の保存管理方法

- 5.1. 継代培養法
- 5.2. 乾燥保存法～L-乾燥法・凍結乾燥法
- 5.3. 凍結保存法

6. 微生物試験の進め方 ～異物・異常品の実例、観察、分離培養、 同定から保存まで～

7. 微生物試験におけるトラブルと対策

8. 微生物検査員の教育

9. 微生物試験の品質管理

「微生物」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

☐ Live配信 (No.602105)

開催日: 2/20

☐ アーカイブ配信 (No.603151)

配信期間: 3/4～3/14

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX (03-5436-7745) にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。 <https://www.gijutu.co.jp/>

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便)・ショートメッセージ(携帯電話)・e-mail 〕			
個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります